

第35回例会報告(3月11日)

【出席報告】

- ・会員数 63名 ・出席数 41名 ・欠席数 22名
 ・当日出席率 72.22% ・前々回修正出席率 98.15%
 <欠席会員> 原田、初田、檜垣(圭)、川上、黒川、松木、光藤、宮本、村上(裕)、佐伯、佐々木、白石(天)、田中、寺町、矢野
 [免除会員] 原(真)、松本、中川、坂本、瀬野、高木、吉田
 <2/26欠席補填> (2/23今治北) 笠間、菅、吉良、重松、(2/24IAC) 佐々木、(2/26職業奉仕) 白石(天)、(3/1今治北) 檜垣(巧)、村上(裕)、(3/2今治南) 濱田、原(竜)、(3/6地区大会) 田中

会長報告・3月6日(土)～7日(日)、徳島での地区大会に21名が出席。我がクラブは昨年度出席優秀クラブ第6位(98.35%)で楯を頂きました。また、野口青楓AGから大会出席のお礼状を頂いています。

・村上修三会員にお嬢様(第2子)が生まれました。

・真部淳氏(真部病院 院長)の入会手続きが規定の段階を経て理事会で承認されました。異議のある方は7日以内に書面で申し出て下さい。

3分間スピーチ/金森節生会員・S61年に入会した頃は人数も多く、年配会員がデンと構えていた。若い会員も調和していたが今の方が和やかで良くなったと思う。例会は自分が成長できるお金では換算できない場だから有意義な時を過ごして欲しい。

ロータリー情報委員会報告/村上敬朋副委員長・ロータリーミニ情報ニコニコ箱(スマイルBOX)は特別な目的を持たない募金を集めているが、この慣例は、S11年より始められた。諸外国ではこれに相当するものとして、ファイブBOX(罰金箱)、チェストBOX(目的を定めた募金箱)などがある。

地区大会報告

伊藤会員：大会テーマは「人情と花と踊りの徳島で 手をつなぎ、友情を深めましょう」桑原ガバナーより地区テーマ「地域と共に生きる」を具体化するため、南海・東南海沖地震の対応の研究、四国88カ所歩き遍路の支援対策の実施、ロータリー小中学校プログラムの準備、を各クラブの活動に取り入れるなどの話があった。また井上RI会長代理より大家族制度の残るアフリカ出身のRI会長にとって家族の概念は大切に「手を貸そう」は思いやりの表現だ。共に奉仕を志すロータリアンにとって地区大会は、家族の一員としての自分を確かめる機会である。又今年は大阪国際大会もあるので是非成功させたい。

越智務会員：四国電力会長・四国経済連合会会長 近藤耕三氏による「エネルギーの窓から」の講演があった。文明の興亡とエネルギーの役割 工業文明の興亡；産業革命の後、電気エネルギーの出現を経て工業文明が社会の変容を促し、地球環境の衝突も生み出している。世界のエネルギー消費、部門別、日本の発電量などエネルギー消費の現状と将来について 先進国・後進国とも人口圧力は大きく文明の転換とが迫られているが対策は未整備だ。化石エネルギーの枯渇が迫る中ストックエネルギーからフローのエネルギーへの転換が必要となる。無尽蔵の太陽エネルギーがこれからの研究課題だ。

佐藤会員：2日目は瀬戸内寂聴氏による講演「切に生きる」が行われた。「切に生きる」とは道元禅師の「我いまここにおいて死すなり」からきている。一時一時を死に向かい合って一生懸命生きるということでそれには、・必成の信念で向かう、・死ぬまで働くべし、・豊富な話題教養を身につけ取り越し苦労はしない、など語った。また我々は大きな力によって生かされている。「させていただく心」によって自分以外の誰かを幸せにするために生かされている。とメモ一つ持たずオーラを感じさせる話しぶりだった。

渡邊会長：会長幹事会に出席、大会決議案などがあった。ゴルフ大会では「ザンビアへ靴を送ろう」とあったのだが募金箱がなかったので、優勝した飯会員が募金箱の設置を提案したら1日で16万を超える募金が集まった。

次回例会(3月18日)

[音楽例会] ~ 2台のピアノによる連弾 ~ 演奏；森山伸先生、安富早織先生

3月18日(木) 12:30~13:30、今治国際ホテル2階「クリスタル」にて
 例会前(11:30~12:30)に1階「ラ・セール」で来た方から昼食をとって下さい
 ロータリアン以外の方も12:30までに入室して下さい
 ポリオ撲滅募金もあわせて行いますので、ご協力宜しくお願いします